

翻訳のアウトソーシングを消耗品から資産に変える方法

CATベースド・トランスレーションによる リソースマネジメント

発行元：

医薬・化学系技術翻訳のARKインタラクティブ

本ドキュメントの著作権及び使用の責任について

第1条 著作権

本ドキュメントの著作権は、ARKインタラクティブに属します。書面による事前許可なくして、本ドキュメントの一部または全部をいかなるデータ蓄積手段（出版物、印刷物、電子情報媒体等）によっても複製、流用、転載及び販売することを禁じます。また、本ドキュメントに記載された情報をARKインタラクティブの事前許可を得ずして、出版、講演活動及び電子情報媒体による配信その他類似の手段により公開することはできません。

第2条 責任の範囲

本ドキュメントに記載されている情報に関し、使用の一切の責任はお客様にあり、当該情報を使って損害が生じたとしてもARKインタラクティブが責任を負うことは一切ありません。

翻訳のアウトソーシングを消耗品から資産に変える方法

翻訳のアウトソーシングは経費ではなく資産！

業務のグローバル化に伴って社内用・社外用を問わず、翻訳文書のマネジメントがこれからの企業の生き残りに際して重要なテーマとなります。文書翻訳のできばえは、仕事の成果や売上、研究の評価、将来の発展と密接に関連しているからです。

しかし、多くの企業では文書翻訳の発注がせっぱつまった状況で行われるため、十分な時間や手間を掛けることなく、必要経費として消耗品的な扱いがなされているのが実情です。すなわち、「とりあえず納期までに翻訳成果物が手に入れば、なんとか事態を乗り切ることができる」といった受け身的な考え方にとらわれている場合があります。これでは、貴重な資源をみすみすみダにしていることとなります。

そこで、ARKインタラクティブでは、貴社の貴重なリソースマネジメントの一環として、CATベースド・トランスレーションマネジメントによる文書管理の有効な戦略を提案します。

◆CATベースド・トランスレーションマネジメントによるメリットとは？

CATとは、computer-assisted translation を意味し、コンピュータを活用した翻訳プロセスを言います。コンピュータを活用した翻訳というと、「機械による自動的な翻訳」を想像してしまいがちですが、全く異なるものです。

先ず、コンピュータは、翻訳の元となる原稿（ソースドキュメント）の重複や類似表現を解析します。その情報に基づいて、翻訳文例データベース（「翻訳メモリー」と呼びます）に蓄えられた類似の表現や同一の表現が表示されます。翻訳者は、コンピュータが表示する過去の例文を参照しながら、新しい訳文を作成してゆきます。

このようなプロセスを経ることにより、

- 1) 過去の翻訳リソースが有効活用できる
 - 2) 新規翻訳の負担（そして費用！）の軽減が図れる
 - 3) 翻訳作業が効率化されるとともに、訳抜けがなくなる
- といったメリットが生まれます。

翻訳のアウトソーシングを消耗品から資産に変える方法

◆CATツールにはどのようなものがある？

数多くのCATツールが市販・公開されていますが、SDL Trados社の製品は広いシェアを持ち、翻訳業界で広く使われています。その他にも、Déjà Vu、Star Transit、Wordfast等の製品がありますが、これらの製品ではTMX規格に準拠した翻訳メモリーが使用できますので、どのアプリケーションを用いても過去のリソースがムダになりません。



図1 CATツールによる翻訳作業の例

◆CATツールはどのように使う？

CATツールを実際に使う方法を、CATツールの代表であるSDL TRADOS社のTranslator's Workbench（以下TW）を例にして説明します。図1に実際の画面の例（SDL Trados社から転載）を示します。

TWは、Microsoft社のWord、Excel、PowerPoint等のアプリケーションと連動して作動します。図1の上部にはTWが起動しており、下部はWordの画面になっています。④にはWord上で作業中の翻訳対象原文（ソースセンテンス）が示されており、⑤には訳文（ターゲットセンテンス）が示されています。

TWは、Word上で翻訳作業を終えたソースセンテンスを隠し文字列に変換してゆきます。その結果、ソースドキュメントで設定した文書フォーマットがそのまま翻訳後の文章にも適用されることになり、フォーマットの問題にも手間取りません。

以上のようにTWでは翻訳対象の文を一つ一つ確認しながら作業を行うため、正確で効率的な翻訳を行うことができます。

翻訳のアウトソーシングを消耗品から資産に変える方法

◆翻訳メモリーの活用によるコスト削減

CATツールにより翻訳した文章のペアは、アプリケーション内部に翻訳メモリーとして蓄積されてゆきます。

ARKインタラクティブでは翻訳の依頼をいただくと、翻訳成果物の納品と合わせて、翻訳メモリーを納品します。この翻訳メモリーは、貴社の重要な資産となります。次回翻訳を依頼する際には、この翻訳メモリーを提示することにより、このメモリー内にある文章とのマッチング状況を検出し、それに応じて翻訳費用のコストダウンを図ることができるのです。

また、貴社では翻訳メモリーのデータベースを作成することにより、貴重な資産として管理することができます。

◆翻訳メモリーをいちいち管理するスタッフがいらないだけで・・・

お客様の中には翻訳メモリーの価値は判ったけれど、それを専門に管理するだけの人材を当てることができない、といった問題意識を抱かれた方もいらっしゃるかも知れません。

大丈夫です。ARKインタラクティブでは貴社と翻訳メモリー維持管理契約を結ぶことにより、当方にて御社の翻訳メモリーを大切に保管・管理いたします。それによって、いつも最新の翻訳データベースを維持し、それに応じた翻訳コストの削減を図ることが可能になります。

◆翻訳の品質管理をしたいのだけれど・・・

頻繁に翻訳の外注を依頼しなければならない部署にとって、翻訳成果物の品質をどのように管理するかは、限られたマンパワーとの関係もあり、頭が痛い問題です。

翻訳のチェックは専門性が必要とされることに加えて、スタッフは本来のビジネス業務に時間を費やさなければならないからです。「とても翻訳のチェックまでやってられない」というのが正直なところではないでしょうか。

ARKインタラクティブでは、貴社と翻訳の品質管理契約を結ぶことにより、どの翻訳会社から納品されたものであっても、翻訳メモリーをベースに翻訳成果物のチェックを行い、不正確な翻訳を指摘し、是正するサービスをご提供します。それによって、お

翻訳のアウトソーシングを消耗品から資産に変える方法

お客様は本来の業務に時間を活用することができるようになります。

◆翻訳を越える翻訳を

一般に翻訳は、ソースセンテンスを一文ずつ他の言語に変換してゆくプロセスであると考えられています。ですから、翻訳では文章の並びを変更したりということは通常の場合行われません。

しかし、このプロセスには一つ大きな問題が潜んでいます。すなわち、日本語の文章を一文ずつ他の言語（例えば英語）に置き換えることができたとしても、なお著者の言わんとすることがよく読み取れない、という問題が起こりうるのです。

それは、パラグラフという問題意識が多く日本語の書き手にないためです。英語ではロジックを構築する単位として、パラグラフが重要な位置を占めています。

ARKインタラクティブでは、一文ずつの翻訳を越えて、パラグラフという視点から翻訳をエディットするサービスも行っています。

◆医薬・化学系の技術翻訳に特化

忙しい業務の中では、翻訳会社選びに時間をかけている余裕はないかもしれません。しかし、繰り返して申しますが、翻訳のアウトソーシングは消耗品ではなく、資産となるべきものです。知的資産の管理にも、十分目を向けてゆく必要があるのです。

ARKインタラクティブでは、医薬・化学系の技術翻訳に特化したサービスを提供しております。更に詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記までお気軽にご連絡ください。

もとのページに戻るには、[こちら](#)に

医薬・化学系翻訳のARKインタラクティブ

<http://www.ark-interactive.jp/>

e-mail: jsasaoka@ark-interactive.jp

〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目 27-8-703

TEL: 050-1171-4365 FAX: 050-3311-6086